

一般社団法人 日本照明工業会



Japan Lighting Manufacturers Association
一般社団法人 日本照明工業会

数十万品種とも言われる電設資材。それほど多くの電設資材があるのですから、当会を含めて、メーカーサイド、販売サイドそれぞれ関わっている業界団体も数多くあります。そこで、今号では特別企画として、代表的な電設資材の一つ、照明に関する活動を行っている一般社団法人日本照明工業会を訪ねました。お話しいただいたのは、同会専務理事の内橋聖明様です。

(文中での敬称は略させていただきます)

ストック市場のSSL化率100%目指して

編集部…(一社)日本照明工業会はどのようなことを行っている団体なのでしょうか。

内橋…CSL(Connected Smart Lighting)＝様々なモノ、コトにつながるインテリジェントなあたりとHCL(Human Centric Lighting)＝人によさしい、安全で・快適・便利なあかりの普及を通して、新しい照明価値創出と地球環境への貢献を目指して日々活動している団体です。

編集部…発足の経緯について教えてくださいいただけますか。

内橋…もともとは、一般社団法人日本電球工業会と一般社団法人日本照明器具工業会という別々の団体で活動していました。かたやランプ、かたや照明器具と、全く別の文化の団体だったのですが、LEDの普及に伴い光源一体型が登場するなど、両者の境目が薄くなってきたこともあり、2013年4月に合併して一般

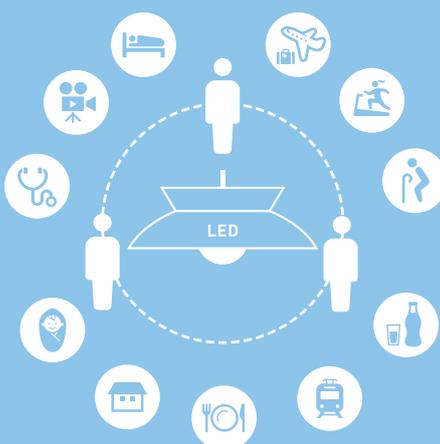
社団法人日本照明工業会が発足しました。今年4月には一般社団法人日本照明委員会も吸収合併しています。

編集部…会員数はどれくらい。
内橋…9月末現在で213会員となっています。基本的にはメーカーであり、日本人があることが条件で、数自体の変動は小さいのですが、LEDの普及に伴い、新規参入メーカーが非常に増え、一方で撤退メーカーもあるため、会員自体はここ10年

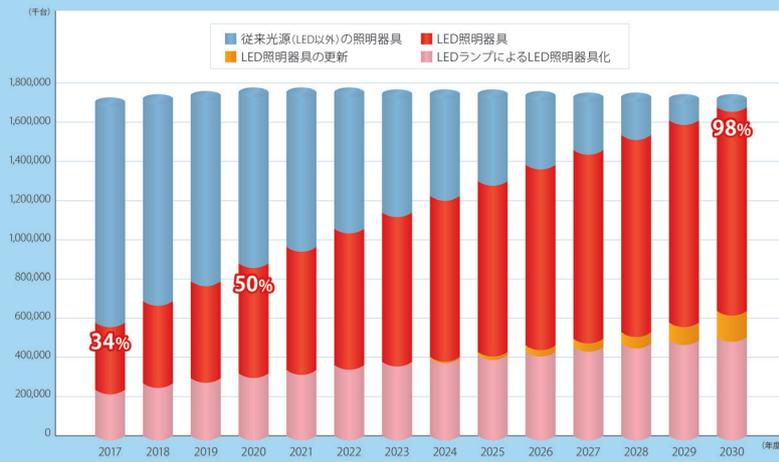
Connected Smart Lighting



Human Centric Lighting

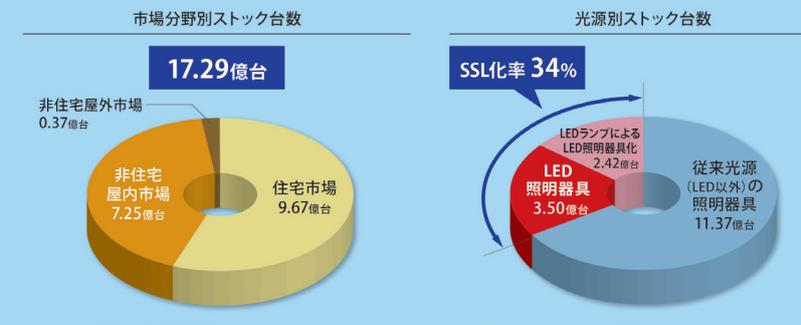


■国内照明器具ストック市場におけるSSL化率100%計画



ストック市場における照明器具台数は約17億台で推移と予測
→政府目標SSL化率100%達成のために関連省庁と連携した“CSL&HCL”の普及加速が重要

■2017年度 照明器具分野別ストック市場推定 (一社)日本照明工業会調べ



間で大きく様変わりしました。

編集部：主な活動は。

内橋：よりよい照明文化の普及・啓

発活動や統計調査などを推進する

「普及活動」、誘導灯認定業務や非常

用照明器具自主認定業務などの「認

証事業」、照明関連製品に関する規格

等の「標準化活動」、国際交流支援な

ど「国際活動」、この4つの活動を推

進しています。そのため会議が年

間600回程あります。

Lighting Vision

2030

編集部：600回とはすごいですね。

どのようなテーマで会議を開いてい

るのでしょか。

内橋：当会では今年3月、CSLと

HCLの普及を通して、新しい照明

価値創出と地球環境への貢献を目指

す照明成長戦略「Lighting

Vision2030」を策定して

おり、達成のための各種施策をテー

マとしています。数値目標としては、

2030年に照明器具ストック市場

の※SSL化率100%を大命題に

掲げています。

※SSL(Solid State Lighting)＝LED、

有機EL、レーザーなど半導体照明

ストック市場のLED化率
未だ40%

編集部：現在、SSL化率はどれく

らいなのでしょうか。

内橋：当会の国内照明器具に関する

自主統計データですが、フロー(出

荷)市場では2018年時点のSSL

L(LED)化率98%とほぼ100

%に近い状況です。しかし、ストッ

ク(既設)市場では、約17億台と推定

% (2018年)と、6割は未だに従

来光源(LED以外)のままとなつて

います。

編集部：ストック市場では未だに半

分以下のLED化率なのです。

内橋：少子高齢化や人口減少という

構造的な問題から、今後も住宅着工

数はそれほど伸びないとみられてい

ます。照明器具の需要もそれに連動

しますから、当会としては非常に危

機感を抱いています。

編集部：LED化率アップのために

はどうすれば。

内橋：リニユール需要の掘り起こ

しです。一つは、安全という切り口。

一般にテレビなどは7、8年で交換

需要が発生すると言われていますが、

それに対して照明器具は数十年、と

もすると40年近く、ランプを替えな

がら使用されています。しかし、実

際は15年が耐用限度で、10年を過ぎ

ると故障率が急激に上がり、大きな

事故につながる恐れがあります。

もう一つは、CSL&HCL、つ

まり高付加価値製品の提供によって

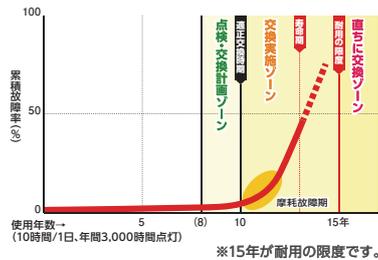
古い照明器具をお使いの方、カエルドキです。省エネしたい、快適にしたい。そんな場合もカエルドキです。

照明器具をリニューアルすれば、省エネも、安全も、快適も解決です。おすすめします、照明器具のエコチェンジ。

器具だって歳をとります。

10年たったら赤信号ですよ!

照明器具の累積故障率



新しい照明に替えて、省エネ性アツプ!

LEDならこんなに省エネできるんです。

最近の照明器具は、センサや調光など、省エネに一役買う機能がついています。効率的に省エネしましょう。
LEDなら71%も省エネ!
この差、かなり大きいですよ。



それだけではありません。
快適さだってガンとアツプ!

今の照明器具は昔と比べて**快適さ**が違います。



照明の質的要件が加わった

器具の寿命が来る前に交換して頂くことです。例えば、当会のシミュレーションでは、2006年当時の従来光源器具と比べ、2020年のSSL器具は20%、2030年には50%の省エネが可能です。10月から、施策の一つとして、「LED照明器具取替促進のための特別キャンペーン」を展開していきます。

また、PCB使用照明器具適正処理の推進、2021年以降の一般照明用水銀ランプの製造、輸出入禁止の観点からもLEDへのリニューアルをおすすめしています。

2021年以降水銀ランプの製造、輸出入禁止

編集部…水銀ランプの製造・輸出入禁止について教えてください。

内橋…現在、水銀ランプは、工場・倉庫、高天井・駐車場、屋外の照明器具などで相当数が使われているとみられています。しかし、水銀に関する水俣条約(水俣条約)の採択によ

り、2020年12月31日以降、国内一般照明用高圧水銀ランプは、製造・輸出入が禁止となります。当会の会員メーカーも、順次、水銀ランプの生産を終了していきますので、電材卸店様にとってもメリットの多いLED照明器具へのリニューアル提案はビジネスチャンスとなるのではないのでしょうか。

(※メタルハイドランプや高圧ナトリウムランプ、一般照明用途以外の高圧水銀ランプは含まれません。)

LED照明器具取替促進のための特別キャンペーン

「あかりに無関心だとチコちゃんに叱られる?」

編集部…LED照明器具取替促進のための特別キャンペーンとは。

内橋…あかりに対する生活者(消費者)の意識を変えることが目的のキャンペーンです。あかりに関心を持ってもらうことで、「まだまだ使える。もったいない。当たり前のように、点灯しなくなるまで使う。」といった



水銀ランプを お使いの皆様へ

※水俣条約の担保法の規定により、国内では2020年12月31日に規制が開始されます。

一般照明用の高圧水銀ランプについては 2021年以降製造輸出又は、輸入が禁止になります。

※メタルハライドランプ、高圧ナトリウムランプは、2021年以降でも製造・輸出入できます。

(一社)日本照明工業会の主な会員メーカーも水銀ランプの生産を終了します。

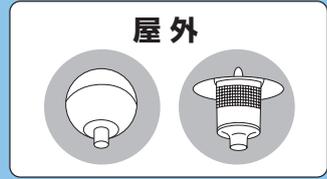
三菱電機照明・
日立グローバルライフソリューションズ・
GSユアサ など
2019年以前に既に生産終了

東芝ライテック など
**2020年3月までに
生産終了予定**

パナソニック・岩崎電気・
ホタルクス など
**2020年6月までに
生産終了あるいは受注終了予定**

こんなタイプの照明器具に使われています。

**LED照明器具
への取替えを
おすすめします。**



編集部…最後に、読者の電材卸店様へのメッセージを
内橋…当会ではストック市場のSSL (LED) 化率100%を目指しています。IoTなどコネクテッ

定です。
「オリジナルチョコちゃんグッズ」を応募できるキャンペーンを実施する予定です。

意識から、より積極的にLED照明器具に取り替えてもらうよう意識を変え、最終的にはストック市場のSSL化率100%を目指します。
キャンペーン名は「あかりに無関心だとチョコちゃんに叱られる!」とし、NHK番組から誕生した老若男女問わず知名度のあるチョコちゃんをキャラクターとして採用しました。何となく気にせずになっていたことに気づきを与えて、「ボーっと生きてんじゃねーよ!」としかつてくれるチョコちゃんのキャラクターで「あかりに對する意識・関心」を持ってもらいたいと思います。
応募期間中に専用WEBサイトで、「オリジナルチョコちゃんグッズ」を応募できるキャンペーンを実施する予定です。

ドな社会ではメーカー単独で達成することは難しく、メーカーから物流、販売まで含めたサプライチェーン全体で取り組んでいくことが必要です。電材卸店様とはこれまで以上に連携、情報共有を密に、当会の活動にご協力いただければ幸いです。

